

腹膜透析されている患者様へ

「腹膜炎の原因及び誘因に関する調査研究」 の協力について

腹膜透析は在宅治療が中心で、治療を継続するにあたり、腹膜炎を発症しないことが大切です。総合5階では、腹膜炎を起こさないように、腹膜透析導入時に、手技だけでなく、生活面・環境面からも指導するように取り組んでいます。しかし、腹膜透析導入患者さんの増加に伴い、腹膜炎を発症する患者さんも増加してきているのが現状です。

今回、当院で腹膜透析を導入された患者さんを対象に、腹膜炎の原因について調査することになりました。この調査により、現在の腹膜炎発症の現状を把握し、今後の腹膜透析の教育に活かせるようにしていきたいと思っています。

《研究の対象者・期間・内容》

対象患者さんは、2013年1月1日～2014年12月31日の期間に、腹膜透析を導入された患者さんです。期間内に導入された患者さんの診療録から、患者さんの背景（年齢・原疾患・出口部の状態など）・生活環境面、腹膜炎発症時の状況を抽出し、統計学的に解析します。

対象者となることを希望されない方は下記の連絡先までご連絡ください。

《個人情報の管理について》

個人情報の漏洩を防ぐため個人を特定できる情報を削除しデータの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧できないようにしています。また、得られた情報は看護研究で使用したいと考えています。それ以外に用いられることはなく、本研究の発表の際には個人が特定できる情報は一切含まれません。

ご協力お願い致します。

《連絡・問い合わせ先》

小倉記念病院

総合5階 看護師 森本宏太

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話：093-511-2000(代)